

- 平成 20 年 7 月から平成 24 年 12 月までのレジ袋辞退者全体の削減効果を試算すると、以下ようになる。ごみ減量のみならず、CO₂排出量削減にもこれだけ寄与したと評価できる。

レジ袋辞退者	26,365 万人
レジ袋辞退枚数	36,361 万枚
レジ袋削減重量	4,165 トン
原油削減量	8,601kl (原油削減量 200 L のドラム缶約 43,005 本分)
二酸化炭素削減量	19,389 トン (約 4,073 世帯の年間排出量分に相当)

- レジ袋削減対策で効果を上げられた要因として、1)山梨県という商圏が、事業者が横並びで取り組めるちょうどよい規模の商圏であったこと、2)協定締結を通じたレジ袋無料配布中止の実施前に、ストップ・レジ袋大作戦として毎月 10 日、20 日、30 日は「ノーレジ袋の日」とする等の取組を行うなど、県内全域でのレジ袋無料配布中止の実施に向けて十分な普及・啓発活動が実施されたこと、3)協定に基づき、山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会・事業者・協定参加団体・行政が、それぞれの役割のもと協働してレジ袋削減のための取組が実施されていること、等が挙げられる。

3. 今後の取組の方向性

- 今後は、ドラッグストアやホームセンター事業者の協議会への参加及び協定締結を通じたレジ袋無料配布中止の取組を拡大していきたい。
- 日々の生活の中で実践できる 7 つのエコ活動(レインボーアクション:マイバッグ運動、マイはし運動、マイボトル運動、リユースびん運動、エコドライブ運動、緑のカーテン運動、環境家計簿運動)を「やまなしエコライフ県民運動」として提唱し、県民一人ひとりがこの運動への参加を通じて自らの生活行動を見直し、環境にやさしいライフスタイルへの転換を図ることを推進している。レジ袋削減対策は、マイバッグ運動に含まれるが、ごみ減量化だけではなく、環境にやさしい社会「CO₂ゼロやまなし」の実現にも寄与するという位置づけで、リデュースや環境保全につながる他のエコ活動とともに、推進していくこととしている。

～はじめようエコライフ! CO₂ゼロやまなしをめざして～

やまなしエコライフ県民運動

やまなしエコライフ県民運動は、みなさんが身近でできるエコ活動を行うことにより、環境にやさしい社会「CO₂ゼロやまなし」を実現していく運動です。

「未来の世代に、より良い環境を残すための架け橋」となるよう、7つの運動を「**レインボーアクション**」と名付けています。

みなさんも、できることからレインボーアクションをはじめてみましょう。

① マイバッグ運動

- レジ袋など使い捨ての買利物袋を削減するため、お買い物にはマイバッグやマイバスケットを持って行きましょう。
- 不要なレジ袋は断りましょう。

折りたたみ式のマイバッグを持ち歩けば、いつでもどこでも使えます。「マイバッグは折りたたんだままお買い物をする」など、「マイバッグお買い物マナー」を守って気持ちよくお買い物を楽しみましょう。



② マイはし運動

- 割りばしなどの使い捨て用品を削減するため、外食時やお弁当を食べる際には、マイはしを利用しましょう。
- リユースはし(繰り返し使えるはし)を使用する飲食店を積極的に利用しましょう。

コンビニなどでお弁当を購入する時は、割りばしや使い捨てフォークを断りましょう。



③ マイボトル運動

- ペットボトルや紙コップなどの飲料容器を削減するため、外出時にはマイボトル(水筒や飲料ボトル等)を携帯しましょう。
- マイボトルに飲み物を販売する飲食店を積極的に利用しましょう。

お気に入りの飲み物をマイボトルに入れて持ち歩けば、いつでも喉を潤せませし、お小遣いの節約にもなります。



④ リユースびん運動

- 環境負荷の少ないリユースびんの利用を推進するため、一升びんやビールびんなどの繰り返し使えるリユースびん入りの商品を購入しましょう。
- リユースびんの空きびんは販売店などに返却しましょう。

びんを洗浄して繰り返し使うリユースびんは、お店などで回収されてこそ何回も使用することができます。



⑤ エコドライブ運動

- 自動車から排出される二酸化炭素を削減するため、「ふんわりアクセル」、「加減速の少ない運転」、「アイドリングストップ」など環境にやさしいエコドライブを実践しましょう。

エコドライブは、燃料の節約や安全運転にもつながります。山梨県では、「エコドライブ宣言」をした方にエコドライブステッカーを差し上げています。



⑥ 緑のカーテン運動

- 夏場の冷房時等に排出される二酸化炭素を削減するため、あさがおやゴーヤなどのつる性植物で緑のカーテンをつくり、エアコンの使用を控えましょう。

葉の蒸散効果で室内の温度が下がるため、節電につながります。野菜で緑のカーテンをつくれれば、収穫も楽しめます。



⑦ 環境家計簿運動

- 家庭で消費されるエネルギーの記録をとり、排出される二酸化炭素の量を計算して、その削減に努めましょう。

継続して環境家計簿を記録すれば、エネルギー使用量や家計の変化が見えてきます。



※マイはし、マイボトルは自己責任により衛生管理をお願いします。

主唱団体

✧環境に関する企業連絡協議会

✧環境パートナーシップやまなし

✧公益財団法人やまなし環境財団

✧山梨県地球温暖化防止活動推進センター

✧山梨県ノーレジ袋推進連絡協議会

✧山梨県